学校番号	３０１０

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版　　（大修館書店出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・思春期の性意識の変化や異性の身体の変化を理解し、異性との人間関係や性情報に対して適切に判断し、行動ができるようにする。
・結婚生活の中には妊娠、出産など直面する健康問題が多く、それらを理解し、家族計画をしっかり立てれるようにする。
・生活の中での突然の出来事（心肺停止やケガ）についての応急手当の方法を知る。
・生涯を通じて健康でいるために、働くことと健康は密接に関わっていることを理解する。また、健康的な社会生活を送るために必要な、検診や安全対策を理解する。

２　学習の到達目標

・健康的な生活行動とはどのようなことか理解できるようになる。
・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる。
・健康や安全に対する社会的な取組みを知り、個人的な対応と関連づけて実践できるようになる。
・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c：知識・理解
観点の趣旨	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
評価方法	定期テスト ノート プリント 受講態度の観察等	定期テスト ノート プリント 受講態度の観察等	定期テスト ノート プリント 受講態度の観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	生涯を通じる健康	思春期と健康 1.思春期の身体と健康 2.思春期の心と健康	○	○	○	a：異性の身体の子供から大人への変化を理解し、説明することができる。 b：思春期に起こる異性の身体的変化を理解し、記述・説明することができる。 c：思春期の健康課題を理解し、それらに対する対処方法を理解し、説明することができる。	プリント 授業態度の観察 定期考査 等
		性意識と性行動の選択 1.性意識の変化と異性の尊重 2.性に関する情報と性行動	○	○	○	a：異性の心の変化には、男女で大きな差があり、個人差が大きいことを理解し、自らの言動・行動をコントロールすることができる。 b：性情報が乱立する中で、適切な情報を選別するための方法を理解し、判断することができる。 c：異性の気持ちを考え、性に関する意思決定、行動選択を適切に行うことができる能力について説明することができる。	プリント 授業態度の観察 定期考査 等
		結婚生活と健康 1.心身の発達と結婚生活 2.結婚生活と家族の健康	○	○	○	a：結婚生活の中にはどのような健康問題があるのかを理解し、説明することができる。 b：体と心の発達がなければ、健康的な結婚生活を送ることはできないことを理解できる。 c：結婚生活は、個人の健康だけではなく、家族全員の健康に大きくかかわってくることを理解できる。	プリント 授業態度の観察 定期考査 等

	生涯を通じる健康	妊娠・出産と健康 1.受精・妊娠・出産 2.妊娠・出産期の健康のために	○	○	○	a：受精と妊娠のメカニズムを理解し、説明することができる。 b：出産の一連の流れを理解し、胎児が誕生するまでを説明することができる。 c：妊娠・出産期にはどのような健康問題があり、どんなサポートが必要なのかを説明することができる。	プリント 授業態度の観察 定期考査 等
		家族計画と人工妊娠中絶 1.家族計画の意義と避妊法 2.人工妊娠中絶	○	○	○	a：家族計画について理解し、子供の人数や子供を産む時期と間隔を、個人の状況に応じて考えることができる。 b：避妊法の種類を理解し、どんな状況でも妊娠の可能性があることを踏まえ適切な行動をとらなければいけないことを理解し説明できる。 c：人工妊娠中絶に関わる法律を理解し、母体に対して大きな健康被害が起こることを説明することができる。	プリント 授業態度の観察 定期考査 等

2学期	生涯を通じる健康	医療制度とその活用 1.医療制度と医療保険のしくみ 2.医療機関と医療サービスの活用	○	○	○	a：自分自身が病院等を受信・支払いした経験を用いて、医療費が自己負担と医療保険からなることを理解できる。 b：社会の高齢化とともに医療費が上昇し、各種税金負担が増える中で高校生自身も医療を適切に受ける考えをもつことができる。 c：医療を受けるものが、活用できる各種サービス・権利を理解し、適切な判断をすることができる。	プリント 授業態度の観察 定期考査 等
		医薬品と健康 1.医薬品の種類と使い方 2.医薬品の安全性のための対策	○	○	○	a：医薬品の種類を購入できるものや医師の処方がないと手に入らないものがあることを理解し、それらを用法・用量を守らなければいけないことを理解する。 b：医薬品は用法・用量を守れば適切な効果が表れ、用法・用量を守らなければ副作用が表れることを理解する。 c：医薬品の開発には承認制度というものがあり、開発にあたり安全性の確保や治療の有効性を確保するためにかなりの期間を要する。こんにちの医薬品の開発と照らし合わせ説明できる。	プリント 授業態度の観察 定期考査 等
3学期	社会生活と健康	働くことと健康 1.働くことと健康のかかわり 2.働き方と健康問題の変化	○	○	○	a：働くことは生活の糧を得るためにとても大切なことであり、自分自身の能力や可能性を広げることにもつながることを理解する。 b：時代が進むにつれて、人類の働き方が変化していることを理解し、それらの変化に加えて健康問題も変化していることを説明できる。	プリント 授業態度の観察 定期考査 等

						c ：現在の働くことで起きている健康問題を理解し、対処法を説明することができる。	
		労働災害と健康 1.労働災害とその防止 2.安全管理と健康管理のしくみ	○	○	○	a : 労働災害は将来仕事に就けば誰にとっても身近な問題となることを理解する。	プリント 授業態度の観察 定期考査 等
						b ：労働災害の発生には、不安全な行動や状態が影響していることを理解し、対策を説明することができる。	
						c ：安全管理と健康管理の重要性を理解し、自らが働く職場では、自らの健康も管理されていることを理解し、今後の就労に備えることができる。	
		健康的な職業生活 1.職場における取り組み 2.日常生活における取り組み	○	○	○	a : 心身ともに健康な状態で働くためには、労働災害の防止対策だけではなく、より積極的に心と体の健康づくりに取り組むことが必要であることを理解できる。	プリント 授業態度の観察 定期考査 等
						b ：トータル・ヘルスプロモーション・プランの内容を理解し、実際にメンタルヘルスケアやリラクセーション方法などを実践することができる。	
						c ：働く中で休暇制度が労働基準法の中で整備されていることを理解し、それを有効活用することが心身のリフレッシュにつながることを理解できる。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断　　c: 知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。